

インドネシア

AJDFカテゴリー-B / 民間農園向け融資



融資対象の農園

[借款概要]

承諾額/実行額	16,955百万円 / 16,408百万円
借款契約調印	1989年11月
借款契約条件	金利2.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1996年12月

[事業概要]

インドネシア中央銀行を通じたツーステップ・ローンを供与することにより、アグロ・インダストリーの育成に資する民間農園の活性化を図り、農村地域の発展に寄与するもの。

[評価結果]

本借款はアセアン・日本開発基金（AJDF：Asean-Japan Development Fund、1987年12月日本・ASEAN首脳会議にて創設）のプログラムとして実施された。

1991～96年に市中銀行を經由し、民間農園のサブ・プロジェクト（計42件）を対象とした長期低利融資が行われた。このうち評価時点で詳細が確認された32件の内訳を見ると、約7割（23件）がオイルパーム農園（その他、カカオ、ゴム等）の建設資金として、農園造成、インフラ・建物、加工工場等に充当され、地理的配分についても、オイルパームの栽培に適したスマトラ島が約6割（20件）と最も多い。この結果、約13万ヘクタール以上の新規農園が建設され、同国における粗パーム油の総生産量の7%に相当する40万トンの粗パーム油が生産されたとされる。

このように本事業はパーム油の生産の増加と輸出を通じた外貨獲得に貢献し、新規農園における雇用創出等により、農家の収入増加にも寄与したものと見られる。